

糖尿病対策専門委員会

(令和3年度)

糖尿病対策専門委員会報告書

広島県地域保健対策協議会 糖尿病対策専門委員会

委員長 米田 真康

I. 年間活動概要

(1) 令和3年度の糖尿病医療連携に関する各地区及び各関係団体の取り組みや活動について、(2) 令和4年度の糖尿病医療連携に向けて、下記の日程で報告・協議した。

第1回：令和4年1月21日（金）

(1) 令和3年度の糖尿病医療連携について

①各地区の糖尿病医療連携に関する取り組み

各地区の委員から、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響によって、患者向けの糖尿病教室が開催できていない、糖尿病患者の入院病床の縮減のため患者教育が十分できていない、という意見が多かった。

地域の診療所との医療連携は例年通り実施できており、日本あるいは広島県糖尿病療養指導士の単位を取得できる講習会や勉強会がWebを用いて各地区で適宜開催されている、と報告があった。

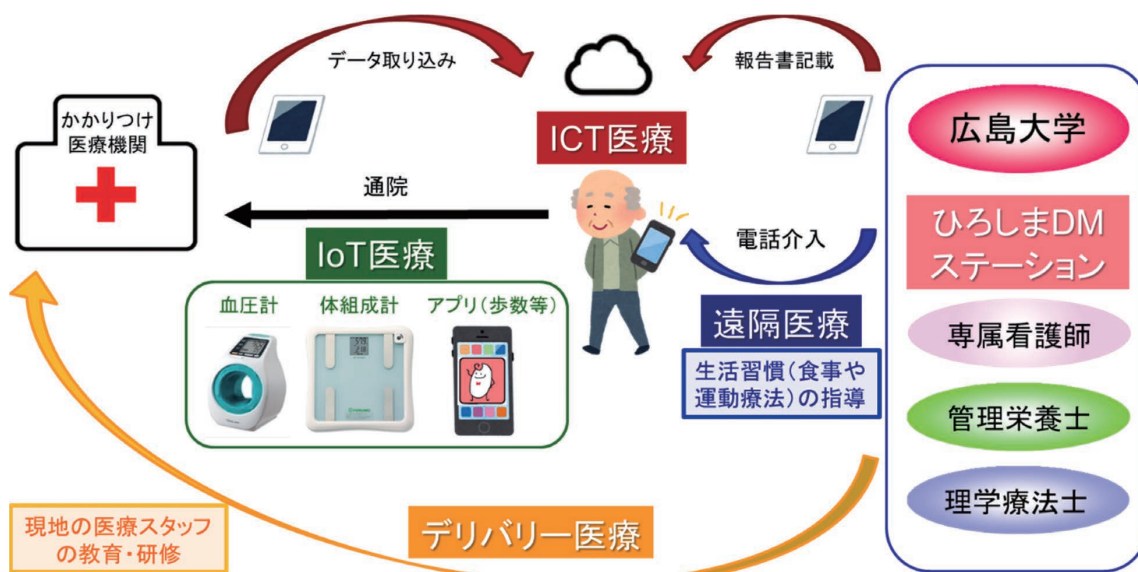
②各関係団体の糖尿病医療に関する活動

【広島県糖尿病協会（山根委員）】コロナ禍のため対面での情報発信ができないため、2020年10月にHPを立ち上げ、会員向けに糖尿病小話を毎月更新するなど、糖尿病に関する様々な情報を発信している。

【広島県糖尿病療養指導士認定機構（藤川委員）】広島県CDEの認定者数は2021年12月末時点で550人であり、横ばい。昨年度から講習会は対面ではなく、Webによるオンデマンドに切り替えている。

【広島県歯科医師会（瀬川委員）】山中委員から瀬川委員へ交代。「糖尿病医科歯科連携推進会議」を立ち上げ、歯科医師会会員に糖尿病に関する内科医との連携状況などについてのアンケートを実施した。また、診療所の待合室に貼ってもらう、糖尿病における歯周病ケアの重要性を訴えるポスターを作成した。

【広島県薬剤師会（吉田委員）】薬局で行われる糖尿病の啓発活動、未病防止に関する講話はコロナ禍のために多くの地域で実施できていない。



【広島県看護協会（山崎委員）】中元委員から山崎委員へ交代。広島県では糖尿病看護に関する研修会が少ないため、糖尿病看護認定看護師で構成する「広島レモンの会」を立ち上げ、定期的な研修会を企画している。

【広島県栄養士会（長委員）】地域でのイベントや調理実習はコロナ禍で実施できていない。栄養士の資質向上のための糖尿病に関する研修会は2講義ほど実施できた。

【広島市健康推進課（濱井委員）】薬剤師会と協力し、一般の高齢者を対象として、フレイル予防、糖尿病の重症化予防、服薬管理の重要性について健康教室や相談会を実施している（ポピュレーションアプローチ）。

③「ひろしま DM ステーション」の遠隔による生活指導について

米田委員長から、2019年8月に広島県地域医療介護総合確保事業の助成により広島大学に設置された「ひろしま DM ステーション」の進捗状況について報告があった。IoTやICTを活用した独自のネットワークシステムを構築し、中山間地域など糖尿病医療過疎地域の医療機関に通院する糖尿病患者に、広島大学から電話で生活習慣（食事や運動）の遠隔指

導を6ヵ月行う。2020年度は安芸太田町、三原市、府中市の3ヵ所の医療機関で患者12名、2021年度は庄原市、坂町を加え、5ヵ所の医療機関で患者15名に実施した。

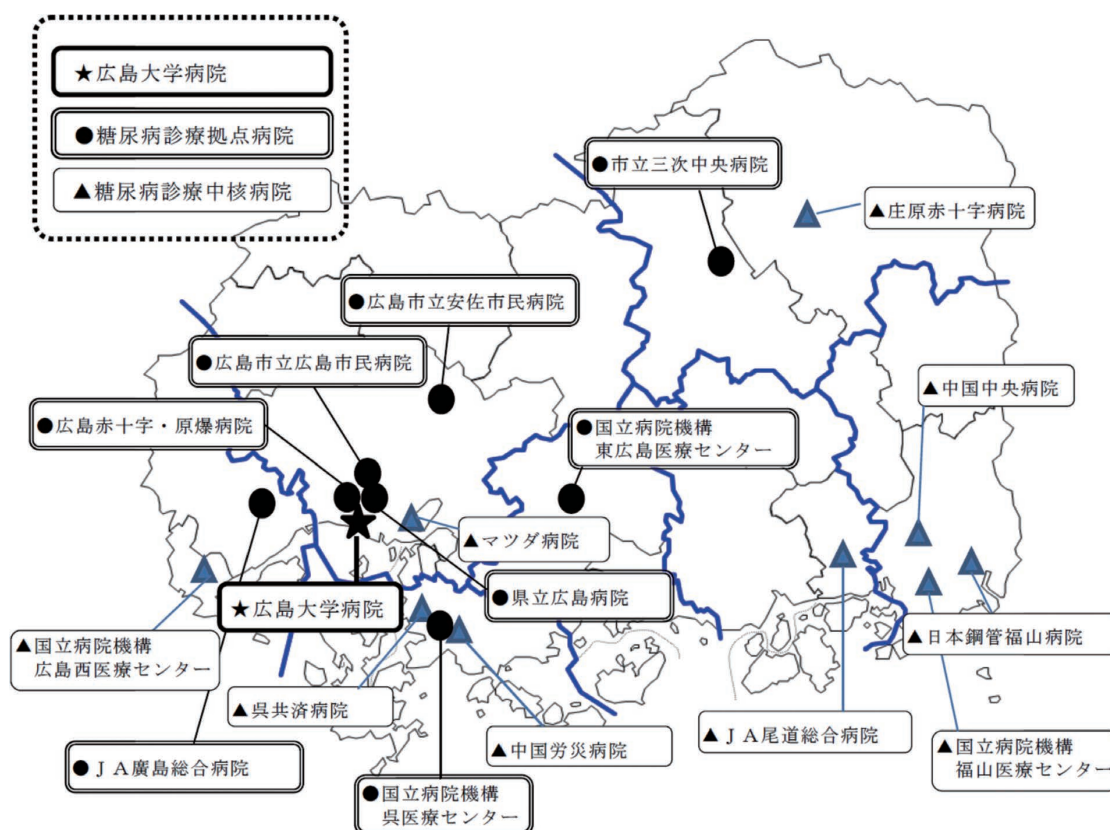
④「糖尿病性腎症重症化予防事業」について

広島県健康づくり推進課（豊田委員）より、令和元年度の市町国保における実績について報告があった。保健指導の実施に同意した患者が390人、保健指導を終了した患者が366人であった。検査データの収集状況は、血圧94.0%、BMI90.4%、HbA1c74.3%、eGFR45.4%であり、腎機能のデータ収集率が低いことが課題となっていた。令和2年に広島県糖尿病性腎症重症化予防プログラムを改訂した際に、検査データの収集を保険者の実施する要綱として明記し、検査結果報告書の様式を改訂した。令和2年度の保健指導の終了人数は310人となっている（解析結果未）。

(2) 令和4年度の糖尿病医療連携に向けて

①「糖尿病診療拠点病院」及び「糖尿病診療中核病院」の指定

二次保健医療圏域（広島、広島西、呉、広島中央、尾三、福山・府中、備北）毎に、少なくとも1つ以



二次保健医療圏	医療機関等の名称	所在市区町	初期・安定期治療		教育治療	専門治療	急性増悪時治療	慢性合併症治療					
			初期	安定期				網膜症	腎症	神経障害	冠動脈疾患	足潰瘍	歯周病
広島	広島市立広島市民病院	広島市中区	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	広島赤十字・原爆病院	広島市中区	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	広島大学病院	広島市南区	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	県立広島病院	広島市南区	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	広島市立安佐市民病院	広島市安佐北区	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	マツダ株式会社 マツダ病院	府中町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
広島西	国立病院機構 広島西医療センター	大竹市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	JA広島総合病院	廿日市市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
呉	労働者健康安全機構 中国労災病院	呉市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	国立病院機構 呉医療センター	呉市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	国家公務員共済連 呉共済病院	呉市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
広島中央	国立病院機構 東広島医療センター	東広島市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
尾三	JA尾道総合病院	尾道市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福山・府中	日本鋼管福山病院	福山市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	公立学校共済組合 中国中央病院	福山市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
備北	市立三次中央病院	三次市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	総合病院 庄原赤十字病院	庄原市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

上の糖尿病医療連携の中心を担う医療機関を設置する目的で、広島県糖尿病診療拠点病院等指定要綱を定め、広島県知事の認定により、2018年4月1日付で糖尿病診療拠点病院として県内8医療機関、糖尿病診療中核病院として9医療機関を指定した。

2022年3月末で、国立病院機構 福山医療センターの糖尿病内科の常勤医師（専門医）が異動し、4月より岡山大学から非常勤医師の派遣となり、複数の医療機能を担うことが難しいため、糖尿病診療中核病院から外すことに決めた。その他の16医療機関

は引き続き指定を継続することにした。広島県庁のHPで公開している図表を上記の如く改訂した。

②「ひろしまDMステーション」の遠隔による生活指導について

IoTやICTを活用した独自のネットワークシステムを改訂し、安芸太田町、三原市、府中市、庄原市、坂町に加えて、2022年度はさらに尾道市因島の医療機関に導入する予定であり、その後も順次、広島県全域の医療機関に拡大実施して行く計画である。

広島県地域保健対策協議会 糖尿病対策専門委員会

委員長 米田 真康 広島大学大学院
委員 天野 純子 広島県医師会
石田 和史 J A広島総合病院
太田 逸朗 広島西医療センター
大本 崇 広島県医師会
岡村 緑 呉共済病院
亀井 望 広島赤十字・原爆病院
久保田益亘 呉医療センター・中国がんセンター
小出 純子 東広島医療センター
杉廣 貴史 市立三次中央病院
瀬川 和司 広島県歯科医師会
田妻 進 J A尾道総合病院
長 久美 広島県栄養士会
豊田 義政 広島県健康福祉局健康づくり推進課
中島浩一郎 庄原赤十字病院
箱田 知美 日本鋼管福山病院
濱井千年世 広島市健康福祉局保健部健康推進課
藤川 るみ グラントタワーメディカルコート
水木 一仁 広島市立広島市民病院
望月 久義 県立広島病院
山崎 優介 広島県看護協会
山根 公則 N T T西日本健康管理センタ
吉田亜賀子 広島県薬剤師会